

2016年度

SCU産学官研究交流会

人間重視と地域社会への貢献を理念に掲げている札幌市立大学では、デザインと看護の分野の特色を活かした研究成果を生み出しています。これまでにない視点の研究成果を紹介することによって、産学官の連携強化のみならず、新規産業の創出支援や製品化へのマッチングを目的として、産学官研究交流会を開催します。

6回目を迎える今年のテーマは「ウェルネス、地方創生、事例紹介」。学内のみならず学外からも発表者を招き、双方向の交流を目指します。ポスター発表・セッション、情報交換会も開催いたしますので、ぜひご参加ください。

2016年
11月30日(水)

15:00～18:10 研究交流会(口頭発表、ポスター発表・セッション)

18:15～19:30 情報交換会

会場／研究交流会：ACU大研修室1614

情報交換会：ACU多目的ラウンジ1610

(札幌市中央区北4西5アスティ45 16F)

対象／産学官連携に関心がある企業・

行政等の関係者、技術者、研究者など

参加費／研究交流会：無料

情報交換会：2,500円(当日会場にて申し受けます)



第一部「ウェルネス」

15:05~15:15

空間的療養効果を重視したArt in Hospital
風の家/Breathing House

定廣 和香子
札幌市立大学看護学部 教授

空間デザインを通じた、療養効果の高いArt in Hospital (病院内アート)を実現するための基礎的研究を実施しました。事前調査により「風の家・Breathing House」を共同研究者(山田 良)が製作し、札幌市内の208病院の看護管理責任者を対象とした設置希望調査、Art in Hospitalに対するニーズ調査を実施し、設置希望があった病院に作品を展示しました。

15:15~15:25

北海道産針葉樹材を活用した『病院木質化』の研究
-WOOD INFILL(ウッドインフィル)病室ユニット

鈴木 正樹
株式会社ハルキ 企画・開発室長

北海道の針葉樹(カラマツ・トドマツ・スギ)は伐期を迎えており消費拡大が課題となっています。しかしながら住宅等の建設業界では人口減に伴い木材利用は停滞しています。そこで、今まであまり活用されてこなかった病院施設への木材利用を促すためプロジェクトを立ち上げました。今回はこのプロジェクトの内容・成果・経過をご報告します。

15:25~15:35

イソフラボン高含有大豆「ゆきびりか」を用いた
北海道味噌の開発

中川 良二
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
産業技術研究本部食品加工研究センター
食品バイオ部食品バイオグループ 主査

イソフラボンを高含有する道産大豆「ゆきびりか」を用いた味噌の製品化と、腸内吸収性に優れたイソフラボンアグリコンを多く含む味噌製造技術の開発についてご報告します。

15:35~15:50 シンポジウム
コーディネーター 小田 和美
札幌市立大学看護学部 教授

第二部「地方創生」

16:00~16:10

地域創生をデザインする
一都会と地方の魅力相乗モデル開発一

酒井 正幸
札幌市立大学デザイン学部 特任教授

大都市への一極集中による周辺市町村の過疎化にストップをかけ、大都市と周辺市町村のそれぞれの強みを生かした二地域連携による地域創生デザイン手法(タイム・スペース・シェアリング型地域連携)のコンセプトと北海道における実証実験結果について報告します。

16:10~16:20

地域協力による揺らぎ照明の開発
一揺らぎ光源を使い、札幌市立大学学生によるドキ
とするインテリア照明デザインの商品化一

野田 英樹
清水勤業株式会社 開発部 執行役員

卸商社の我が社は自社商品開発を掲げ、癒しが期待できるというLED揺らぎ光源を使い、商品開発を始めるが、デザイン力不足でこれを外部に依頼している。若い発想を求め札幌市立大学へ協力を依頼し、デザイン学部の学生により試作品を製作。その中の1点を商品化した経緯を報告します。

16:20~16:30

人口減少の緩和を目指した札幌市の取組について
一さっぽろ未来創生プラン一

早瀬 京太
札幌市まちづくり政策局政策企画部 企画課長

札幌市はこれまで人口増加を続けてきましたが、ここ数年のうちに人口減少に転じることが見込まれています。この人口減少の緩和を図るため、札幌市では安心して働ける環境と社会全体で子育てを支える環境をつくってまいります。

16:30~16:45 シンポジウム
コーディネーター 山田 良
札幌市立大学デザイン学部 准教授

第三部「事例紹介」／ポスター発表・セッション

16:55~17:03

授業を通しての地域連携活動の事例紹介
一くるみなの木遊館にて制作・販売する木工製品の
デザイン提案一

小宮 加奈子
札幌市立大学デザイン学部 講師

2016年5月、当麻町に子ども達が木に触れて学ぶ施設「くるみなの木遊館」が開館しました。そこで、2016年度前期にある2年生の授業課題として、北海道立総合研究機構林産試験場と社会福祉法人当麻かたるべの森と連携し、「くるみなの木遊館」で制作、販売する木工製品の提案に取り組みしました。その活動報告をします。

17:03~17:11

看護実践能力を向上させるための教材開発と評価
一装着型産褥子宮モデル一

山本 真由美
札幌市立大学看護学部 講師

本研究の目的は、開発した「装着型産褥子宮モデル」を用いた学習効果の評価です。そこで今回、看護学生を対象とした学習効果に関する調査結果を発表します。

17:11~17:19 質疑・応答
司会 上遠野 敏
札幌市立大学デザイン学部 教授

17:24~17:44

ポスター発表・セッション①

17:44~18:04

ポスター発表・セッション②



情報交換会

18:15~19:30 ACU 多目的ラウンジ



2016年度SCU産学官研究交流会 参加申込書

氏名	ふりがな				
貴社(団体)名	ふりがな				
部署・役職					
TEL					
e-mail					
研究交流会	参加	不参加	情報交換会	参加	不参加

11月30日(水)開催のSCU産学官研究交流会に申し込みます。

※この申込書は札幌市立大学のホームページからもダウンロードできます。
<https://www.scu.ac.jp/campus/crc/kouza-3/scu>

研究交流会のみ、もしくは情報交換会をみの参加も歓迎いたします。
お申込み期間:10月11日(火)~11月22日(火)

お申込み・お問合せ

札幌市立大学サテライトキャンパス
札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 12階
TEL.011-218-7500 FAX.011-218-7507 E-mail.koza@acu-h.jp